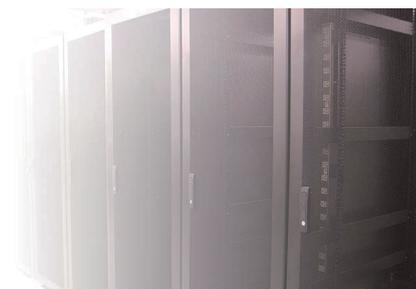


東京第五データセンター

災害に強い都心型データセンター



東日本大震災以降、BCP(事業継続計画)の重要性が再認識され、企業活動を支える情報システムの安全性向上を高めるため、データセンターの活用が増えています。

都内中心部に位置し、災害対策に優れた立地と設備を兼ね備えた「東京第五データセンター」をぜひご活用ください。

特長

■ 良好なアクセス環境

- 品川区山手線内
- 主要合計4駅から徒歩10分～15分
- JR・地下鉄・私鉄10路線乗り入れ

■ 災害に強い立地/設備

第三者機関による災害時安全性評価で災害リスクの低い地域

- 地震危険度 …………… 地震危険度調査で「最も危険性の低い地域」
- 液状化危険度 …………… 地盤調査結果で「ほとんど発生しない地域」
- 浸水危険度 …………… 危険性の最も低い50cm未満(ビルに50cmの立上り)
- 基礎免震構造
- 発電機稼働時間 48時間(最大負荷時)
- 発電機、無停電電源装置(UPS)、空調設備、すべて冗長構成

■ ネットワークとの高い接続性

- ソフトバンクの大容量バックボーンが支える高速・高品質なネットワーク
- インターネット網、閉域網・モバイル網などの活用でお客様ニーズに柔軟対応

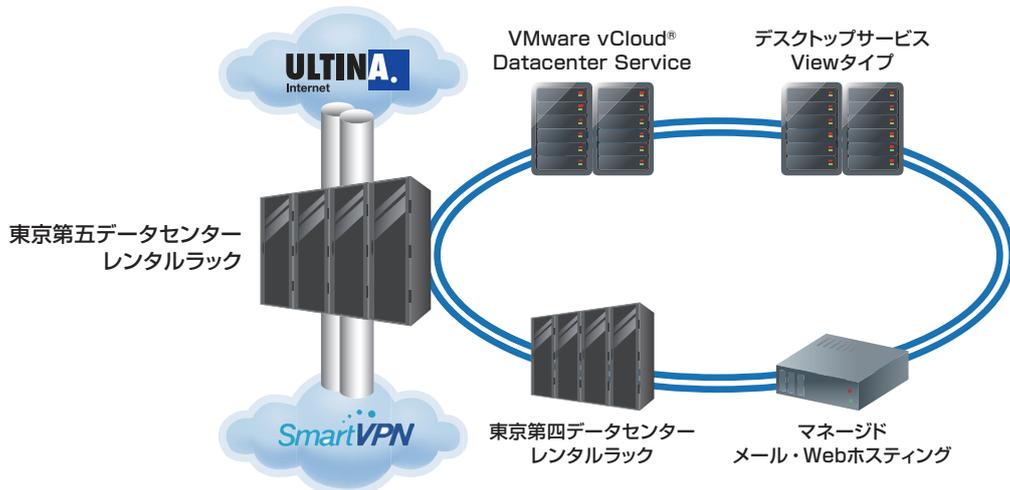


その他サービスとの高い接続性

■ ネットワークとの高い接続性

■ クラウドサービスとシームレスに接続可能

■ ソフトバンク東京第四データセンターとシームレスに接続可能



■ 立地

液状化危険度

東京都土木技術センターによる「液状化危険度」(3段階評価)で最も危険性の低い『ほとんど発生しない』地域

浸水危険度

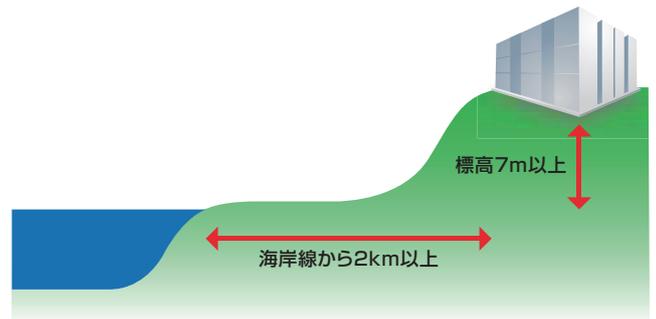
東京都建設局による浸水ハザードマップで危険度の最も低い『50cm未満』(ビル周辺に50cm以上の立上りを設置)

火災危険度

東京都都市整備局による「火災危険度」は最も危険性の低い『1』(5段階評価)

地域危険度

東京都都市整備局による「地震に関する地域危険度」(5段階評価)で最も危険性が少ない地域(総合危険度『1』、建物倒壊危険度『1』、火災危険度『1』)



■ セキュリティ

24時間365日有人入館管理、監視カメラ、ICカード、生体認証、パッシブセンサーなどの堅ろうなセキュリティとなります。

■ 環境対策

東京第五データセンターは、最新鋭の技術と設備を駆使し、データセンターとしてトップクラスの機能性を実装するとともに、先進の環境技術を導入し業界最高水準のグリーン志向データセンターを目指します。[PUEは設計性能値で1.36]

冷房/空調

- 外気冷房
- 地中熱利用
- 雨水散水

緑化

- 屋上・壁面緑化

電力/照明

- 太陽光発電
- 自然光
- LED照明
- 人感センサー制御照明



インターロック式ゲート



フラPPERゲート



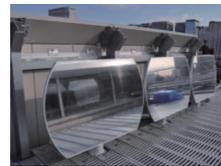
監視カメラ



太陽光モニタ



ドライミスト(雨水利用)



太陽追尾装置



ソーラーパネル



外気取り入れ

■ 設備概要

総床面積	20,000㎡
建築構造	免震構造
ビル竣工時期	2011年2月
消火方法	窒素
受電方式	特別高圧 2系統(地中配線)
UPS構成	N+1 冗長構成 (ブロックリダント方式)
非常用発電機スベック	ガスタービン式発電機
発電機構成	N+1 冗長構成
燃料補給契約	優先補給契約あり

非常用発電設備稼働時間(最大負荷時)	48時間
冷却方式	空冷式(ホットアイル・コールドアイル方式)
空調構成	N+1 冗長構成
セキュリティ	DC出入口: 受付による入退室管理+フラPPERゲート(ICカード)
	フロア: ICカード認証
機器室出入口: 静脈認証+ICカード+共連れ防止機能	
ISO認証	ISO20000,ISO27001,ISO9001
機器室スラブ面の耐荷重	1,500kg/㎡
フリアク高	600mm
天井高(梁下)	2,700mm(フリアク床下(600mm)除く)

■ サービスメニュー

コロケーションサービス レンタルラック	1ラックあたり2kVA~8kVAまで提供可能
運用代行サービス	定期作業、緊急作業。監視等の標準作業からお客様固有の対応まで幅広く実施

お問い合わせ

※ パンフレット記載内容は、2015年12月現在のものです。
 ※ サービス名称は一般に各社の商標または登録商標です。